

THE 6TH 21ST CENTURY

ミュージアムが 社会を変える

文化による新しいコミュニティ創り

2014年2月8日[土]—9日[日]

会場 | 湘南国際村センター(神奈川県葉山町)

【基調講演】**ジャック・ラング**

元フランス文化大臣 / アラブ世界研究所長

【鼎談パネリスト】**中山恭子** | 参議院議員 / 元拉致問題担当大臣

MUSEUMS SUMMIT

8日「国の文化政策と政治家の役割」

ダラ・ウィリアムズ | 在日オーストラリア大使館 政務担当公使

エドアルド・クリサフリ | 駐日イタリア大使館 イタリア文化会館、文化アタッシュ

金 英順 | 美術史家, Director of The New Wave of Korean Culture Bureau

島谷弘幸 | 東京国立博物館 副館長

9日「ミュージアムがコミュニティを創る」

山内宏泰 | リアス・アーク美術館 学芸員 / 学芸係長

熊谷慎一郎 | 宮城県図書館 司書

桜井 武 | 熊本市現代美術館 館長

伊藤達矢 | 東京藝術大学 特任助教

稲庭彩和子 | 東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション担当係長

池田 修 | BankART1929 代表

山野真悟 | 黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長

遠藤水城 | インディペンデント・キュレーター / HAPS エグゼクティブディレクター

第6回
21世紀ミュージアム・サミット

【主催】(公財)かながわ国際交流財団、日本経済新聞社、神奈川県

【後援】文化庁、全国美術館会議、(公財)日本博物館協会、(公社)企業メセナ協議会、(独法)国際交流基金、神奈川県教育委員会、神奈川県博物館協会、
イタリア文化会館、駐日韓国大使館 韓国文化院、在日オーストラリア大使館、在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本

【助成】(公財)野村財団、笹川日仏財団、(公財)韓昌祐・哲文化財団

定員 | 80名 参加費 | 一般 3,000円、学生 1,500円

THE 6TH 21ST CENTURY MUSEUM SUMMIT 第6回 21世紀ミュージアム・サミット

ミュージアムが社会を変える 文化による新しいコミュニティ創り

日本は東京五輪までに「文化大国」をめざすというが、文化の担い手であるミュージアムがその核になるべきではないか？
そのために行政や政治家はどのような役割を果たし、ミュージアムはどう変わり市民はどう関わればよいのか？

地域の文化を継承し次世代への夢を創造するミュージアムは、人びとの絆を深め新しいコミュニティを創り地域を活性化させる。ミュージアムこそが、人口減や低成長が続くこれからの日本社会を大きく変えるパワーになるのではないか。他国との比較や国内で取り組んでいる事例もふまえて、参加者全員で熱く話し合う2日間—

2014年2月8日[土]

10:00~12:00

オープニング[30分]

挨拶: 福原義春 | (公財)かながわ国際交流財団 理事長
趣旨説明: 水沢 勉

基調講演「ルーヴル美術館の闘い」[90分]

ジャック・ラング



【基調講演】
ジャック・ラング
元フランス文化大臣/
アラブ世界研究所長

13:00~18:00

各国の文化政策報告[80分]

【豪】「アイデンティティの形成とコミュニティの創成
-ミュージアムが社会に提供するもの」
ダラ・ウィリアムズ

【伊】「MUSEUMS FOR LOCAL COMMUNITIES: THE ITALIAN CASE」
エドアルド・クリサフッリ

【韓】「場所の文化政治: 東大門 デザイン・プラザ」
金 英順

【日】「展覧会による日本文化の情報発信」
島谷弘幸



【鼎談パネリスト】
中山恭子
参議院議員 /
元拉致問題担当大臣

鼎談「文化大国」への道は?」[60分]

中山恭子、高階秀爾、福原義春

国別の分科会[60分]

各国文化政策報告の内容を基に、各国報告者と共に議論を深めます。
参加者はいずれか1つの分科会のみをお選びいただきます。

(申込時に第1希望~第3希望までお書きください)

■ファシリテーター

フランス: 井上昌之 | 日本経済新聞社 文化事業局総務
ディアヌ・ジョス | 在日フランス大使館 文化アタッシュ

オーストラリア: 原 久子 | 大阪電気通信大学 教授

イタリア: 岩淵潤子 | アグロスパシア株式会社 主筆・編集長/
青山学院大学総合文化政策学部 客員教授

韓国: 隈元信一 | 朝日新聞社 編集委員

分科会報告/1日目総括[80分] 司会: 蓑 豊

2014年2月9日[日]

10:00~12:15

オリエンテーション[15分]

司会: 栗原祐司 | 東京国立博物館 総務部長

国内のミュージアムの取り組み

〈Part 1〉大震災を経て[60分]

司会・進行: 佐々木秀彦 | 東京都美術館 交流係長

「方舟としてのミュージアム」 山内宏泰

「なかったことにしないために~震災復興への取り組みから
都道府県立図書館の役割を再定義する試み~」 熊谷慎一郎

〈Part 2〉地域の核となるには[60分]

司会・進行: 草薙奈津子 | 平塚市美術館 館長

「地域になくてはならない美術館となるために」 桜井 武

「ラーニングデザインプロジェクト“museum start
あいうえの”」 伊藤達矢、稲庭彩和子

13:10~17:40

討論「街づくりとアーティスト」[90分] 司会: 建島 哲

池田 修、山野真悟、遠藤水城

ワールド・カフェ[100分] ファシリテーター: 稲庭彩和子

4~5名が1つのテーブルに座り、オープンに会話することで、お互いの想いを共有したり、知識・知恵を創発して理解を深めます。

全体総括[60分] 司会: 栗原祐司

※プログラムや登壇者は都合により変更となる場合があります



90° ANNIVERSAIRE
DU PARTENARIAT CULTUREL
FRANCO-JAPONAIS
日仏文化協力90周年



【公式ホームページ】 <http://www.k-i-a.or.jp/shonan/museum/>

【申込方法】 (申込多数の場合は抽選となります)

E-mail: museum@kif.ac 左記のアドレス宛に「氏名」「住所」「電話番号」「メールアドレス」「希望の分科会(第1~第3希望)」「ミュージアム・サミットに期待すること(300字程度)」をご記載の上、メールをお送り下さい。

※メールアドレスをお持ちでない方は、同様の項目に「FAX番号」を追加した上で、FAXにてお送り下さい。FAX: 046-858-1210

申込締切: 2014年1月22日[水]

※参加の可否は1月末までにメールかFAXでお知らせします。

[21世紀ミュージアム・サミット監修者] 高階秀爾(大原美術館 館長) / 蓑豊(兵庫県立美術館 館長) / 建島哲(埼玉県立近代美術館 館長) / 水沢勉(神奈川県立近代美術館 館長)

【会場・湘南国際村センターへのアクセス】

JR逗子駅、京急新逗子駅、京急汐入駅よりバスで約30分

詳しくはこちら → <http://www.shonan-village.co.jp/access.html>

【問い合わせ】

(公財)かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター (担当: 菅沼、的場)

〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39

TEL: 046-855-1822 FAX: 046-858-1210

E-mail: museum@kif.ac

